

橋梁技術発表会 及び 講演会

--- 伊藤學賞表彰式 ---

開催概要

日時	令和8年10月2日(金) 13:30~17:45
会場	銀座プロッサム(中央会館)ホール 東京都中央区銀座2-15-6
申込	https://www.jasbc.or.jp/ ※申込はWebサイトのみです。
申込受付期間	8月3日~9月25日
継続教育	—
資料	会場では配布いたしません。必要に応じて Webサイトより出力し持参願います。 9月25日掲載予定

《開催日一覧》		
地区	開催日	申込締切
東京地区	10/02(金)	09/25(金)
大阪地区	10/16(金)	10/09(金)
北海道地区	10/23(金)	10/16(金)
中部地区	11/06(金)	10/30(金)
東北地区	11/17(火)	11/10(火)
九州地区	11/27(金)	11/20(金)
(6地区開催ですが発表テーマは異なります)		



開会	13:30~13:35	開会の辞	(一社)日本橋梁建設協会 会長 川田 忠裕
第一部 技術発表	13:35~14:10	技術発表(1) 令和7年道路橋示方書による単純合成鋼桁の設計例 ~ 耐荷性能の評価を中心に改定の主なポイントについて ~	設計小委員会
	14:10~14:45	技術発表(2) 城陽西高架橋における工事途中の4車線から6車線への計画変更に伴う架設計画の変更対応 ~ 吊ビーム設備を用いたハンガーエレクション工法による鋼床版箱桁の拡幅施工 ~	架設小委員会②
	14:45~14:55	休憩	
	14:55~15:30	技術発表(3) 床版取替え施工時における鋼桁補強 ~ 鋼桁補強の種類や施工事例 ~	床版小委員会
	15:30~15:40	休憩	
第二部 表彰式	15:40~16:10	1. 受賞者紹介 他	
	16:10~16:30	2. 表彰式	
第三部 受賞者講演	16:30~16:40	休憩	
	16:40~17:40	伊藤學賞受賞記念講演 鋼橋の疲労強度向上を目指して	法政大学 名誉教授 森 猛
閉会	17:40~17:45	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行小委員会 委員長 本田 政樹

発表概要

【技術発表(1)】

2025年10月に改定された道路橋示方書(R7道示)について、主にⅡ編(鋼部材・鋼上部構造編)の変更点と、それに対応した設計計算例を報告します。今回の改定は新しい形式に対しても適切に性能を評価するための枠組みを充実させ、様々な耐久技術の開発を見据え、耐久性能の評価方法を明確化、能登半島地震を踏まえた対応を行っており、既設橋の高齢化やDX活用、自然災害の激甚化を背景に、安全性・耐久性の向上とライフサイクルコスト(LCC)の低減を目的としています。最大の特徴は「機能系統」という概念の導入です。上部構造を「主桁・主構」「床版・床組」「立体的構造保持」の各機能系統に分類し、それぞれの役割に応じた耐荷性能評価を行う体系へと刷新されています。単純合成鋼桁(支間33m)の試算では、新基準に基づき架設時・完成時の各限界状態(1~3)を照査しました。曲げおよびせん断に対して、所要の耐荷性能を満足することを確認しています。本発表が、新基準への適正な移行と合理的設計の一助となれば幸いです。

【技術発表(2)】

新設高架橋工事の施工途中に、片側2車線から3車線(上下線で6車線)へ路線計画が変更されたため、詳細設計を再実施し、製作途中の鋼桁を改造して変更に対応しました。架設方法については、施工鋼重が約1.5倍に増加しましたが、大型クレーンを多用し、架設回数を当初計画と同様とすることで、交通規制等による周辺の一般交通への影響を最小限にとどめました。

また、木津川河川上にかかる供用中の隣接橋梁(鋼桁+箱桁、PcaPC床版)の拡幅工事も同時に行うこととなりましたが、下部河川内ヤードが使用できない条件であったため、吊ビーム設備を上下線に跨がせて鋼床版桁を吊り下げ架設するハンガービーム工法により、2車線分の拡幅施工を行いました。

【技術発表(3)】

(一社)日本橋梁建設協会では、床版取替え工法の種類・特徴・留意点および高耐久化対策を体系的に整理した技術資料として「床版取替え施工の手引き」を発刊していますが、鋼橋の床版取替えにおいては、活荷重などの設計条件の変更、合成構造から非合成構造への構造形式の変更、施工時の重機の載荷などに対して鋼桁の補強が必要となります。このため、床版取替えに伴う「鋼桁補強工」に焦点を当て、作業手順、工程、留意事項を分かりやすく整理し、あわせて、代表的な補強工法について実施工の報告に基づいた事例を掲載した「床版取替え施工の手引き補足資料 ー床版取替え時の鋼桁補強と施工事例ー」を発刊しました。本発表では、この補足資料に基づき、床版取替え施工時における鋼桁補強の種類や施工事例について説明します。